

令和7年度 夏季研修

「どうして?わかった!もっとやりたい!」と感じる防災の授業づくり  
～命を守り自ら備えようとするために～



令和7年7月25日(金)、本校教諭であり、防災士の資格を持つ  
神田崇先生に気象防災学習や地震防災学習の授業実践を取り入れながら、  
講義をしていただきました。

この研修には校内外合わせて約70名以上の先生方が受講されました。



「どうして?わかった!もっとやりたい」と感じる授業とは?

どんな授業にも必要なこと

- ・明確な目標がある!
- ・活動意欲を引き出す!
- ・対話が適所にある!
- ・視覚支援が充実している!
- ・安心して活動に取り組める!
- ・達成感を味わうことができる!

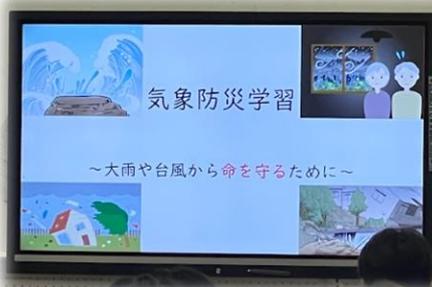
そのために

支援が必要な子どもへの配慮と工夫が必要

- ・今日がんばることがわかりやすく示される導入
- ・何のために学ぶかを意識して取り組める展開
- ・どんな子どもにも発表の機会とその方法がある展開
- ・判断が難しくても選択肢から近い考えを選べる発問
- ・失敗したり間違ったりしても認めてもらえる安心感
- ・「ここまでやったら終わり」という見通しの確保

気象防災学習と地震防災学習の授業実践を行いました。

実際の授業で使用したスライドとワークシートを使用し、災害の危険予測と、どのようにして命を守るかをペアで考えました。一人一台端末を使って、台風や大雨の被害について調べ、調べた内容や考えを発表しました。Air Drop を活用し授業者と参加者とでデータの共有を行いました。



ICT は学習効果を高めるための補助具!!

- ・主体性を引き出す  
疑問が沸く、目標が分かる、発表したくなる
- ・思考や判断を促す  
考える、予想する、比べる、調べる、見つける
- ・授業の進行補助  
今すべきことがわかる、見通しをもつ

今回の研修を通して、子どもたちが「自分から学びたい」「もっと挑戦したい」と思える授業づくりの視点を学ぶことができました。

主体性を引き出し、子どもたち自身が自己の成長を実感できる授業へとつなげられるヒントとなりました。